長野県立大学
後 援 会

会 報

2023.3
Vol.8

CONTENTS

1	**ご挨拶**	長野県立大学	後援会会長	齋藤　儀信
	卒業生を送るにあたり	公立大学法人長野県立大学	理事長	安藤　国威
	復活の喜び	長野県立大学	学　長	金田一真澄

2～3　**特　集　<卒業式>**

＊＊卒　業　式＊＊

●卒業生から一言

●卒業記念品　コラム

4～5　**進路情報**

6　Campus Topics

＊＊一年生交流会＊＊

7　**＊＊寮　　祭＊＊**

8　**＊＊学　園　祭＊＊**

8　**＊＊サークル活動＊＊**

9　**＊＊学 生 表 彰＊＊**

Information

●古本募金のお知らせ

●ご寄付のお願い

●後援会事務局より

ご 挨 拶

長野県立大学　後援会会長
齋藤　儀信

会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスの世界的な流行という未曽有の混乱の中、遠隔授業の導入や学外活動の制限など、学生の皆さんのキャンパスライフにも大きな変化がもたらされました。そのような中にあっても決して諦めることなく、創意工夫を以て新しい大学のスタイルを構築し続けた学生の皆さん、先生方をはじめとした大学職員の皆さんには敬服するばかりです。コロナ禍という特殊環境が去りつつある今、渡航海外プログラムも再開される見込みとなり、本大学の特色が最大限に生かされていくものと思いますが、コロナ禍というハンデの中でも就職内定率100％を達成した本大学が、その本領を発揮するとなるとどうなってしまうのか、期待が膨らむばかりです。

２期生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍に最も大きな影響を受けた世代と思いますが、だからこそ長野県立大学で過ごした４年間がいつまでも思い出として記憶に残るのではないでしょうか。その思い出と共に長野県立大学で培った力をそれぞれの新しい道で発揮されることを願っております。

卒業生を送るにあたり

公立大学法人長野県立大学　理事長
安藤　国威

後援会の皆様には日ごろ多大なご支援をいただき、深く感謝申し上げます。本日ご卒業の第２期生の保護者の皆様には心よりお慶びを申し上げます。

振り返りますと、２期生の皆さんは１年次こそ寮生活を中心に本来の学園生活を過ごせたものの、その後の３年間は新型コロナに翻弄され、２年次の海外プログラムは勿論、ほとんど全てのイベントやサークル活動は中止、もしくは極めて制約された条件下で行われ、オンラインを中心とした授業が約２年行われた後、やっと昨年から対面に切り替わった状況でした。

その様な環境の中でも、オンラインを見事に活用し、決してアカデミックレベルを落とすことなく、最後には昨年の１期生とは全く遜色ないレベルの就職内定率を勝ち取った皆さんを心から誇りに思います。

経営の分野では「イノベーションは制約の中から生まれる」と言われますが、コロナ禍という逆境の中で育った２期生の皆さんには、どんな厳しい環境に置かれても、逞しく自らの人生を切り開いていくことができるという期待、というより確信を持っています。

後援会の皆様には温かく学生達を見守って頂くようお願い申し上げます。

復活の喜び

長野県立大学　学長
金田一　真澄

いつも本学へ温かなご支援・ご協力を頂き、心より感謝いたします。

新型コロナが５類に引き下げられることが決まり、不自由な行動制限から徐々に解放され、学生たちの活動が復活する予感がいたします。誠に喜ばしいことです。

昨年秋の学園祭は、久しぶりに学生たちが思う存分楽しめるお祭りになりました。TVメディアが特集を組んで撮りに来たほどで、打ち上げ花火もあり、私も便乗してコントを演じ、学生たちの嬉しそうな笑顔あふれる学園祭でした。

今年２月初めには、象山寮からほど近いセントラルスクゥエアで“寮祭”が行われ、キッチンカーに囲まれた中で、１年生有志がステージでバンド演奏やダンスを披露しました。長い冬眠生活から目覚めたかのような華やかなイベントでした。

この度は２期生が卒業ということで、大学の歴史と伝統が少しずつ積み重ねられていきます。就職も１期生に続き順調で、県内企業からもかなりオファーが来ていると聞いています。

会長の齋藤儀信さまをはじめ、後援会の皆さまには、今後とも一層のご支援を、よろしくお願い申し上げます。

特　集 ＜卒業式＞

＊＊＊＊＊卒　業　式＊＊＊＊＊

令和５年３月17日（金）に、令和４年度長野県立大学卒業式を挙行いたしました。

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科154名、健康発達学部食健康学科30名、健康発達学部こども学科38名の２期生222名の卒業生に、金田一真澄学長より卒業証書が授与されました。

今年度は、卒業生一人につきお一人まで、ご家族等付き添いの方も会場へ入り、また、国からの通知を踏まえつつ、卒業生は概ねがマスクを外しての参加となりました。

新型コロナウイルス感染症の流行により、活動を制限される部分も多かった今年度の卒業生ですが、この日は特に晴れやかな笑顔が見られました。

● 卒業生からひと言

グローバルマネジメント学部　グローバルマネジメント学科　　**長嶋　大輝**

晴れ渡るこの素晴らしい日に、我々長野県立大学２期生は卒業をすることができます。そして、盛大な卒業式を開催していただいたことに卒業生一同心より御礼申し上げます。

長野県立大学は開学して間もない大学ですが、可能性に満ち溢れ、世界に挑戦する学生が全国から集っています。また、長野の皆様から愛されている大学であることも確かです。

在学中は新型コロナウイルスの影響で学生生活に大きな影響がありましたが、自らの置かれた環境にて最善の努力を行い、勉学や就職活動に精進しました。結果として第１志望の企業への内定を勝ち取りました。これが実現できたのも、ゼミ担当の宮下清教授をはじめとする長野県立大学の教職員の方々のお力添えがあったからです。

卒業に際して喜びを感じる一方で、友人との別れに寂しさを感じずにはいられません。

しかし、いつまでも過去を名残惜しむことは許されません。この先の新しい門出に向けて我々はスタートしていきます。長野県立大学を卒業したことに誇りを持ち、これからの未来を担う人間として活躍していきます。

健康発達学部　食健康学科　　**大日方　葵**

長野県立大学に入学してから卒業するまで、本当にあっという間で充実した４年間でした。

大学生活を振り返ってみると、どの場面にも、一緒に頑張ってきた友人や支えてくださった先生方、家族がいます。制約のなか様々なことが出来なくなって何回も悔しい思いをしましたが、それ以上に、やり遂げたことや楽しかった思い出がもっともっとたくさんあります。

大人数での慣れない寮生活も、緊張と不安だらけの学外実習や試験勉強も、周りに助けてもらいながら乗り越えることができました。食健康学科の友達と、おいしいご飯をご褒美に勉強や卒論を頑張ったことも、いい思い出です。わたしの写真フォルダのお気に入りは、笑顔のみんなでいっぱいです。

友達と先生方とともに学び、多くの面で成長できたこの４年間はかけがえのない時間です。たくさんのすてきな出会いに恵まれ、この長野県立大学に入学して良かったと心から思います。大学生活を一緒に過ごしてくれたみんな、支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

健康発達学部　こども学科　**竹村　佳恵**

こども学科で過ごした４年間はとても大切な思い出になりました。特に印象的だったのが、保育実習での経験と先生方の優しさ、学生同士の仲の良さです。

４年間で４回の実習があるのですが、先生方は親身になって相談にのってくださり、子ども達との接し方等のアドバイスをくださいました。そして、友達と切磋琢磨しながら進めたことで、より充実した実習になったと感じています。

子育て支援を行うサークルでは、地域の親子との触れ合いを通して、子どもだけではなく保護者の方との関わり方についても学ぶことができました。

コロナ前に開かれたクラス全体でのご飯会や、毎日の授業を通して、学生同士の仲も深まりました。素直で優しいみんなと一緒に学べたこと、学校に通えたこと、本当に嬉しく思います。

保育を学べる学校は数多くありますが、このような様々な経験ができる本学のこども学科に入学できて心からよかったと思っています。お世話になりましたこども学科の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

コ ラ ム

長野県立大学卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この度、卒業記念品として信州木曽で育った桜を使った木箸を製作させていただいた、 AGEMATSU LIVING Laboratory の小林です。

今回、皆さんのお手元にお届けした箸には、木曽の春を彩ったお寺の桜を使っています。歴史ある桜もその年月でかなりの大木となり、お寺の建物の安全を考慮し惜しまれつつも伐採されることとなりました。これまで、この木曽に住む人々の春を彩ってきたこの桜の木が、そのまま処分されてしまうのはとても勿体ない。この伐採された桜の木を何か新しいカタチで人々の暮らしに寄り添うようモノとして残したい。そういった想いから始まった取り組みの一つとして、皆さんの卒業記念の品を一つ一つ丁寧に手作業で作らせていただきました。

この大学の卒業を機に始まる、皆さんの新たな暮らしを少しでも彩る道具となれば幸いです。

AGEMATSU LIVING Laboratory　小林信彦

伐採風景

製作の様子

卒業記念品

進 路 情 報

● ２期生の進路決定にあたって

キャリアセンター長　**大南　匠**

新型コロナウイルス感染症の影響下において、２期生の皆さんは従来の就職活動とは異なる状況に直面しました。しかし、就職関連のイベントの中止、あるいはオンラインによる選考などの多くの困難を乗り越え、100%の就職率という結果となりました。
この成果は、皆さんの努力に加えて、地域の企業、大学教職員、そして後援会の皆様方からの温かいご支援とご理解の賜物です。心より感謝申し上げます。
また、１期生により提案された「就職アドバイザー制度」や「県大生の県大生による県大生のための就活攻略本」は、今年度更に発展を遂げました。先輩方の経験や知識が引き継がれ、これからも後輩たちの就職活動を支援し続けていくことでしょう。
キャリアセンターは今後も学生のキャリア支援や就職支援に全力で取り組んでまいります。後援会の皆様には、引き続き変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

● ２期生を迎えるにあたって

ホクト株式会社　代表取締役社長　**水野　雅義 様**

長野に本社を構える企業として地元の大学の学生と触れる機会をいただく中で、長野県立大学の学生は生き生きとしている人が多いと感じております。自分の考え方に信念をもって就職活動をされているのではないかと推測されます。私自身も様々な形で学生の考えを聞きますが、しっかりしているという印象を強く持っております。
昨今の就職活動において、企業側にとっては厳しい状況が続いております。そのような状況の中で、学生は縁あってそれぞれの企業に巡り合われています。経済界に身を置く人間としては、新社会人として就職先での活躍を大いに期待するものです。この４年間で学んだことや経験したことを成長の糧とし、長野県立大学出身の方は素晴らしい活躍をしていると上司や先輩、そして同僚から思われる人になっていただきたいと祈念しております。
弊社においては、縁あって２期生を迎えることができました。貴校とともに成長していけるよう願っております。

● 卒業生の活躍

オリオン機械株式会社　管理本部
総務部　人事教育グループ　**山口あいり 様**

私は人事教育グループで、新卒採用と給与の担当をしています。「当社の魅力を広めたい」という思いから、人事という仕事で自分らしさを発揮しています。採用活動ではインターンシップやイベント、工場見学や会社説明などを担当し、自分自身の就職活動を思い出しながら学生の気持ちに沿った企画に尽力しています。給与に関しては、勤怠管理等で社員の皆さんとのやり取りを大切にし、責任を持って業務に励んでいます。社外に向けて魅力を発信する採用活動と、社員の皆さんの縁の下の力持ちのような責任ある給与業務で充実した社会人生活を送っております。今後も長野県立大学の卒業生という誇りを持ち、謙虚な気持ちで初心を忘れることなく、成長していきたいです。

● ２期生の進路状況

昨年に続き２期生の就職内定率が100％となりました（2023年３月17日現在）。

業界別内定先内訳や主な内定先・進学先については、長野県立大学ホームページ内のキャリアセンターページをご覧ください。

● 内定者インタビュー

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科　４年
若林　亮冶 さん　内定先：東日本旅客鉄道株式会社

鉄道事業に加え、あらゆる分野で人々の生活に貢献できる事が決め手です。入社後は、ネットワークを活かし、地方と都市部をつなぐ地域活性化に挑戦したいです。そのために、様々な組織の方々と協働しながら失敗を恐れずにチャレンジしていきたいです。

健康発達学部食健康学科　４年
藏方マリモ さん　内定先：医療法人社団 福寿会

臨地実習で回復期や退院後の栄養管理に興味を持ち、様々な形態の施設があり治療から在宅復帰までをサポートできる医療法人を志望しました。入職後は、患者様の状態に応じた栄養管理・栄養指導の経験を積み、訪問栄養食事指導にも携わりたいです。

健康発達学部こども学科　４年
萱原　瑞葵 さん　内定先：社会福祉法人桂樹会　みどり園保育所

子どもたちの「やりたい」という思いが尊重される保育をしたいと思い、就職先を決定しました。園生活の中で、子どもたちや自分自身もわくわくできる環境を考え、保育に取り組みたいです。常に学び続ける姿勢を忘れず、保育現場に向き合いたいと思います。

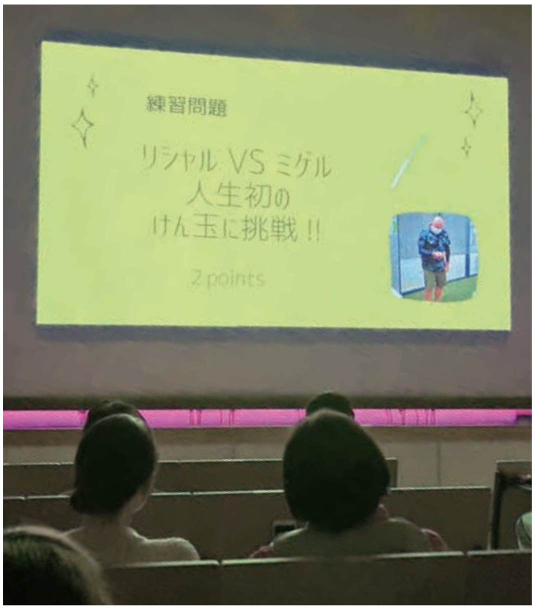
● ２期生による「就職アドバイザー」活動報告

就職活動を終えた２期生が「就職アドバイザー」として、就職活動の体験談やノウハウを後輩に伝える活動に取り組みました。メンバーは県内外の様々な業界・職種に内定した14人（グローバルマネジメント学部８人、食健康学科３人、こども学科３人）で、内定者報告会、個別相談、冊子『県大生の県大生による県大生のための就活攻略本　極』の制作など、実体験に基づく知見や視点を伝えてくれました。

左から：ミーティングでの集合写真、内定者報告会、後輩就活生との個別相談、冊子『県大生の県大生による県大生のための就活攻略本　極』

Campus Topics

＊＊＊＊＊ 一年生交流会 ＊＊＊＊＊



一年生交流イベントを行って　　　　　　　　　　　荒井　蒼來

10月29日約80名の一年生が一年生交流イベントに参加しました。例年一年生同士の親睦を目的にスポーツ大会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染状況の判断が困難だったこともあり、スポーツ大会という名目では開催することは出来ませんでした。しかし、実行委員で知恵を絞り合い、誰でも楽しむことができるゲームや、景品のある対戦型のゲームを考え、今回の一年生交流イベントを無事開催することができました。いままで、私たち一年生の代は大学入学当初からマスク生活、リモート授業、入寮者数を半数に削減するなど様々な制限がありました。そのため、コロナ禍以前より一年生同士での交流が明らかに減ってしまいました。今回のイベントを通して、多くの人から「色んな人と話せて楽しかった」という感想を頂きました。コロナ禍で親睦を深める機会を作ることができたのは一つの成果だと思います。私はこの交流会での出会いや繋がりが後の大学三年間に活きると思っています。是非、来年の新入生にもこのイベントを継続またはスポーツ大会を復活していただけると嬉しいです。

＊＊＊＊＊寮　祭＊＊＊＊＊

象山寮祭を行って

寮祭実行委員長　　粂原　吏玖

長野県立大学の寮は、１年で学生が入れ替わるため先輩がいなく、伝統が作りづらい仕組みになっています。そのため、どのように寮生であることの楽しさを後輩に伝えていくかを副寮長に就任した時から考えていました。

寮から徒歩で数分のセントラルスクウェアとアールデポを会場にすることで、寮祭の開催を知らない方でも目に付くようになり、学生のみならず小さいお子さんやお年寄りまで幅広い年齢層の方々に訪れて頂きました。寮生だけが楽しむのではなく、象山寮の位置する町全体を巻き込み、「学生とまちの交流」を達成することが出来ました。

私は、象山寮生として過ごしてきた１年間の集大成を今回の寮祭で最大限に発揮できたと確信しています。

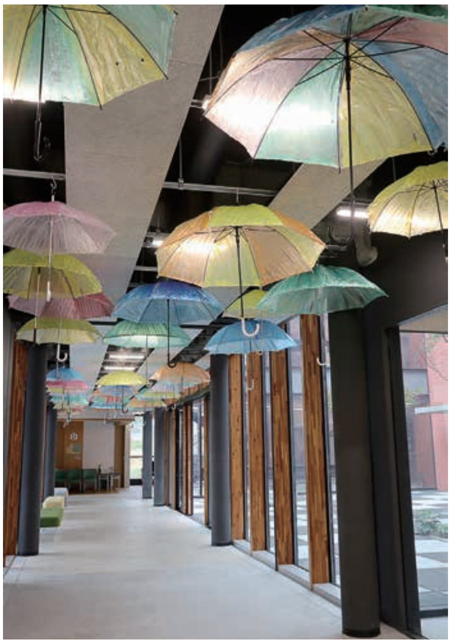
開催にあたって、協力して頂いた後援会の方々、西後町のみなさん、そして実行委員として手伝ってくれた学生のみなさん、心より感謝申し上げます。

＊＊＊＊＊学　園　祭＊＊＊＊＊

学園祭のリスタート

学園祭実行委員会代表　山本　勇気

　私たち学園祭実行委員会は、2022年10月21日～23日にかけ、学園祭「FUN2022」を開催しました。この学園祭は2018年に本学が開学して以来初の全学年揃っての開催です。委員の全員が大学の学園祭を知らなかった為みな手探りの状態でしたが、後援会の皆様を始め、六鈴会・大学職員・地域のみなさまのご協力があってやり切ることができました。温かい応援を本当にありがとうございました。学園祭のイメージも湧かない状態で、準備期間のメンバーは期待と不安でいっぱいでしたが、迎えた当日のキャンパス風景は学生たちの笑顔でいっぱいで、学園祭の成功を強く実感した瞬間です。執筆時点（2023年２月）現在では、この成功を次年度へ繋げようと、新たな実行委員が動き始めています。2022年の学園祭は一般公開できませんでしたが、大学の枠も超えて楽しみにしてもらえるような行事を目指し、このバトンを繋いでいきたいと思います。今後も長野県立大学学園祭をよろしくお願いします。



学園祭に参加して

小原流華道サークル長　柳沢奈々子

　サークルメンバー５人という少人数サークルですが、今回の学園祭で常時展示企画「生け花展示」、イベント企画「ハーバリウム作り」の２つで参加させていただきました。生け花展示では、サークルメンバーがそれぞれ違う花材を使用し、色とりどりの作品を展示することができました。ハーバリウム作りでは、サークルメンバーが参加者の方々をサポートしながら、とても素敵な作品を残すことができました。

　今回の学園祭企画は、サークルメンバー・企画参加者ともに楽しい思い出となったのではないかと思います。特にハーバリウム作りでは、参加してくださった方々の笑顔や楽しそうな姿、「ありがとう」という感謝の言葉を多く聞くことができとても嬉しかったです。メンバーも責任を持ちながら参加者の嬉しそうな姿をみて、「やってよかった、楽しかった」と達成感を感じることができました。
　来年も花に関する展示及びイベント企画を実施予定です。是非ご参加ください。

＊＊＊＊＊ サークル活動 ＊＊＊＊＊

サークル活動を振り返って　UNsembleサークル　遠藤　亜依

大学４年間を振り返ると、合唱・アカペラサークル“UNsemble”として活動した思い出が色濃く残っています。２期生として入学し、サークル長やメンバー、顧問である学務課の佐野さんと共に創設したサークルでは充実した時間を過ごすことができました。特に思い出深い活動は、私たち４年生の最後のステージとなった2022年度の文化祭です。2019年度に初めてステージに立ってから２年間、新型コロナウイルスによる活動制限の壁に悩まされました。制限下でも何とか交流を試みようと、各々が離れた場所で歌っていても同じ場所で歌っているように聞こえる「オンラインアカペラ」に挑戦するなど前向きに活動しました。そして迎えた2022年度のステージでは、新たに後輩メンバーを迎え、お互いに顔を合わせながら、直接皆様に私たちの歌を届けることができました。後悔のないステージにするために、仲間と一緒に練習や意見を重ねた時間は私にとって大切な思い出です。

陸上サークルの活動を振り返って　陸上サークル長　西澤　佑真

陸上サークルは、総勢11名が所属しているサークルになります。週１回程度、大学付近の陸上競技場に集まり活動していました。本サークルでは、各々の自主性を重んじているため、練習メニューや時間については個人に委ねています。それゆえ、大会への参加も個人の自由であり、地域の記録会だけではなく、トレイルランニングやマラソンなど幅広い領域で活躍しています。今年度は、コロナ以後、初めて年間を通じた活動を実施することができました。これに併せて、初めて対面で顔合わせの機会を設けることができました。先輩、後輩の垣根を超えた交流を実現することができ、サークルとして実りある１年となりました。

＊＊＊＊＊ 学 生 表 彰 ＊＊＊＊＊

学 長 表 彰

４年間を通じ、学業成績が最も優秀であった者

グローバルマネジメント学部
グローバルマネジメント学科
19G067　笹原　舞夏

健康発達学部　食健康学科
19F004　伊藤柚美佳

健康発達学部　こども学科
19C037　山﨑　　舞

理事長表彰

学長表彰を除き、４年間を通じ、特に優れた活動により、本学の名誉を高めた個人または団体で、理事長が認めた者

グローバルマネジメント学部
グローバルマネジメント学科
19G025　太田　汐音

健康発達学部　食健康学科
おやつ工房PAKKUN
（19F030　湯本さつき
19F004　伊藤柚美佳
19F002　井口由佳子）

健康発達学部　こども学科
19C004　伊藤　文香

Information

● 古本募金のお知らせ

長野県立大学では株式会社バリューブックス様との提携により、本による寄付「古本募金」を受付けております。長野県立大学古本募金とは、皆様から書籍やDVDをお送りいただき、その 買取（査定）金額が長野県立大学に寄付される仕組みです。頂戴しましたご寄付は学生の教育研究充実のため、英語書籍や専門書籍の購入に充てられます。

※スマホの方は、右のQRコードを読み込むと、直接、長野県立大古本募金のウェブページに進めます。

※PCの方は「長野県立大学古本募金」で検索いただくと便利です。詳細はウェブページをご覧ください。

● ご寄付のお願い

長野県立大学では、充実した教育研究、きめ細やかな学生支援を行うために、公立大学法人長野県立大学基金を設置し、皆さまからのご寄付を募集しております。ぜひ次世代を担う学生に温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

● 後援会事務局より

後援会から長野県立大学図書館に書籍を寄贈しました。

学費あるいは授業について等、ご不明な点、ご相談など下記までお問い合わせください。また、後援会事業に関するご質問等も下記までお知らせください。

★授業に関すること	学生サポートセンター教務第一係	kyomu@u-nagano.ac.jp
★学生生活・学費等に関すること	学生サポートセンター学生支援係	gakusei @u-nagano.ac.jp
★後援会に関すること	学生サポートセンター学生支援係	gakusei @u-nagano.ac.jp

長野県立大学後援会

〒380-8525　長野県長野市三輪８丁目 49 番地７号
電話：026-217-5082　　FAX：026-235-0026
https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/

後援会ホームページのご案内

後援会の主な事業や会報のバックナンバーをご覧いただけます。

長野県立大学後援会　検索